

WITH YOUR SMILE

テクノロジーを活用した 業務効率化モデル事業成果報告会 ～2年目成果報告～

介護老人保健施設 フルリール甲府
DX推進委員会
千葉千聡 杉田遼

施設概要



施設名：フルリール甲府

施設種別：介護老人保健施設（入所・短期入所・デイケア・訪問リハ）

所在地：〒400-0055 山梨県甲府市大津町1509-1

定員：90名

職員数：70名

施設内容：従来型個室50室、2人部屋4室、4人部屋8室（90室）

フルリール甲府の目指すもの

Mission

ご自宅や地域での生活の再開を目指し、
総合的に生活を支援する

——— 住み慣れた地域でいつまでも、最期まで ———



昨年度の取り組み（課題）

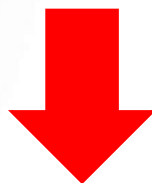
- ①職員の高齢化に伴い、移乗介助が業務負担となっており、腰痛者も増加していた。また、職員間で移乗スキルに差があり、移乗介助場面におけるひやり・事故が散見されていた
- ②外線電話の取次業務における人探しや情報共有・ヘルプ要求等がフロアの構造上から業務圧迫を感じていた
- ③介護ソフトの使用できるPCの台数が限られているため、早い者勝ち状態になっており、順番が空くまで介護記録や書類業務が行えず生産性が低下していた（紙ベースでの処理も多い）

昨年度の取り組み (課題に対し導入したテクノロジー)

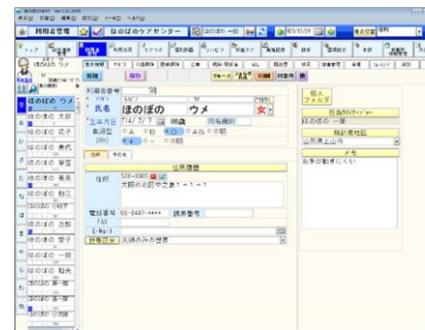
移乗介助



人探し



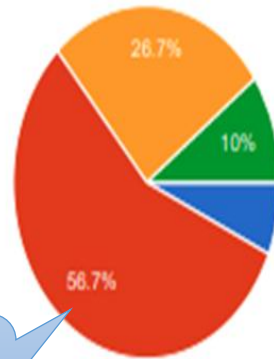
介護ソフト・PCの不足



昨年度の取り組み（導入後の成果①）

利用者を移乗介助する際に心理的に不安を感じていますか？

30 件の回答

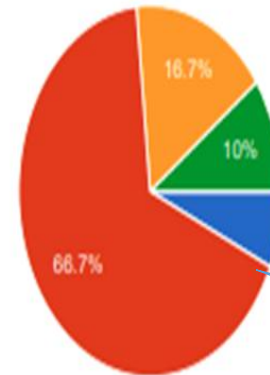


心理的負担
64%

- ほとんどの利用者に対して強く感じている
- 一部の利用者に対して強く感じている
- 日によって不安を感じる時もある
- あまり感じていない
- 感じていない

利用者を移乗介助する際に身体的に負担を感じていますか？

30 件の回答



身体的負担
74%

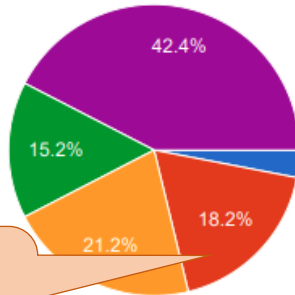
- ほとんどの利用者に対して強く感じている
- 一部の利用者に対して強く感じている
- 日によって不安を感じる時もある
- あまり感じていない
- 感じていない

KPIの項目	件数
移乗動作時のひやり・はっと件数	9件
移乗動作時の事故（転倒・転落）件数	2件
移乗動作時の事故に伴う入院件数	1件
2人介助で移乗を行っている利用者数	10名

昨年度の取り組み（導入後の成果②）

利用者を移乗介助する際に心理的に不安を感じていますか？

33 件の回答

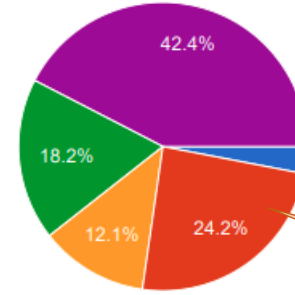


心理的負担
64%⇒22%

- ほとんどの利用者に対して強く感じている
- 一部の利用者に対して強く感じている
- 日によって不安を感じる時もある
- あまり感じていない
- 感じていない

利用者を移乗介助する際に身体的に負担を感じていますか？

33 件の回答



身体的負担
74%⇒28%

- ほとんどの利用者に対して強く感じている
- 一部の利用者に対して強く感じている
- 日によって不安を感じる時もある
- あまり感じていない
- 感じていない

KPIの項目	件数
移乗動作時のひやり・はっと件数	9件→1件
移乗動作時の事故（転倒・転落）件数	2件→0件
移乗動作時の事故に伴う入院件数	1件→0件
2人介助で移乗を行っている利用者数	10名→0名

昨年度の取り組み（導入後の成果②）

【Hug導入によりオムツからリハパンとなり、トイレ誘導へ…】

- 導入前（オムツを使用している利用者数）：17名
- 導入後（オムツからリハパンとなり、トイレ誘導となった利用者数）：7名

⇒自立支援を目的に積極的に活用することでリハビリ効果もあった
（立ち上がりや立位耐久性の維持・改善）

昨年度の取り組み（導入後の成果③）

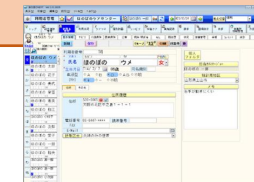
【インカム】

- ・外線電話から人づてで探さない分、だいぶ**時間短縮**となった
- ・ヘルプ要求がしやすくなった
- ・グループを活用することでその場で**情報共有**がしやすくなった



【介護ソフト・PC】

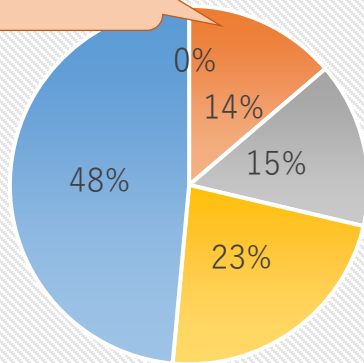
- ・数が増えることで**順番を待たずに行え**、他の業務ができるようになった
- ・紙ベースでの情報共有が減り、**印刷する手間がはぶけた**



現在の活用状況（移乗介助支援ロボット）

心理的不安

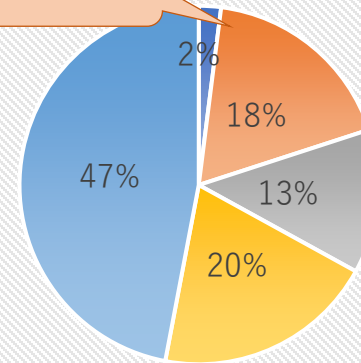
22%⇒14%



- ほとんどの利用者に対して強く感じる
- 一部の利用者に対して強く感じる
- 日によって不安を感じる
- あまり感じていない
- 感じていない

身体的不安

28%⇒20%



- ほとんどの利用者に対して強く感じる
- 一部の利用者に対して強く感じる
- 日によって不安を感じる時もある
- あまり感じていない
- 感じていない

KPIの項目（R6.4～R7.2）	件数
移乗動作時のひやり・はっと件数	2件
移乗動作時の事故（転倒・転落）件数	0件
移乗動作時の事故に伴う入院件数	0件
2人介助で移乗を行っている利用者数	0名

現在の活用状況（インカム）

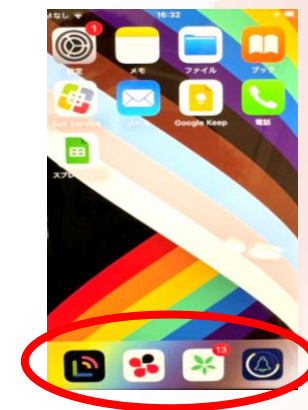
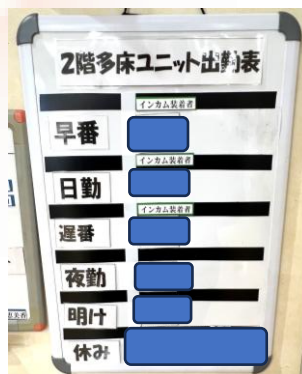
- インカムの使用はできているも職員間にて定着率の差が生じており、その差から事務員の人探しやフロア職員の内線ダッシュを僅かながら認めていた…

【取り組み①】 **オリジナルのインカム使用説明動画を作成**し、その都度確認できるようにした

【取り組み②】 インカムを**装着する担当を提示し意識づけ**の強化を図った

【取り組み③】 「休憩」や「会議」「持ち場を離れる時」等**些細なことから使用し**定着を試みた

【取り組み④】 **アイコンは整理**して見やすくし、誰でも分かりやすいようにした



KPIの項目（R6.4～R7.2）	件数
インカムの定着率	70⇒90%
事務職員のフロア間移動	5⇒1～2件
フロア職員の内線ダッシュ	5～6⇒0件

現在の活用状況（介護ソフト・PC）

- ・介護支援ソフトは引き続き問題なく使用出来ている
- ・パソコンやソフトの数が増えたことで業務効率化に繋がっている。また、さらなる業務効率化に向け、キャスター台を購入し利用者様の見守りをしながら、隙間時間に業務に当たれるように工夫した



今年度新たに取り組んだこと

- 各階ごとに浴室はあるも、各階で浴槽の形態が違いため、階移動（エレベーターの待ち時間や荷物を取りに行く等）に時間を多々要していた
- 入浴場面（シャワーキャリー・チェアへの移乗や洗体時）も状況により2人介助で対応し、人手を要していた

⇒今回は新たにリフト付き個浴・入浴用のリフト・入浴用のHug等を導入し、各階での入浴を行い、階移動の時間削減や入浴場面の業務効率化を図ることとした

同階で入浴を行う『入浴業務改善PJ開始』



入浴業務改善PJ

【PJ前】

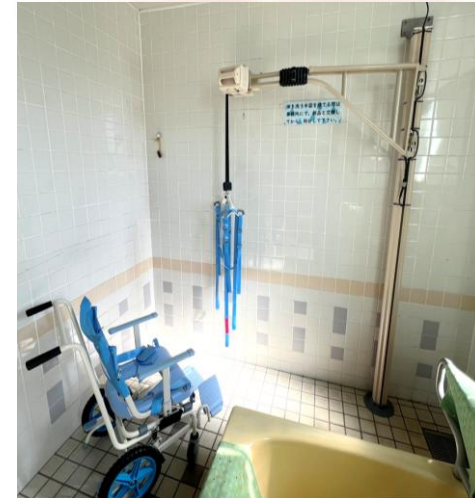
- 1階：ストレッチャー浴のみ
- 2,3階：個浴のみ

【PJ後】

- 1階：ストレッチャー浴 + リフト付き個浴の設置
- 2,3階：個浴 + 入浴用リフト + 入浴用Hugの導入

【KPI】

- ①EVの待ち時間
- ②移動にかかる歩数
- ③入浴場面に関わる人手



成果

設定したKPI	改善前	改善後
①EVの待ち時間	40～50分	0分
②移動にかかる歩数	2500歩	1200歩
③入浴場面に関わる人手	4名（洗い1～2名、着脱1～2名、誘導1名）	3名 （洗い1名、着脱1名、誘導1名）

- ・一度に入れる人数が減ったことで負担が減った。また、入浴のために残業をすることがあったが、残業がなくなった
- ・入浴のリフトが入ったことで体調変化に応じて臨機応変に対応できるようになり、助かっている
- ・入浴の効率化が図れたことで別の業務に対応できるようになった



まとめと今後

- 新たに入浴用の機器（リフトやHug）を多数導入し、入浴システムも見直したことで、入浴における精神的・身体的負担軽減へと繋がったと考える
- 入浴支援に割く人手が減り、時間短縮にも繋がったことで利用者に関われる時間や書類作業を行える時間を作れ、業務効率化にもなった
- 現状、介護分野は担い手が少なく、高齢者の増加も予測される。引き続き、様々なテクノロジーを駆使し生産性の向上を図りつつ、利用者により良い支援ができるよう努めていきたい



フルルール甲府DX
推進委員会





ご清聴ありがとうございました



医療法人健栄会／介護老人保健施設

リハビリケアセンター

フルリール甲府